

第4回取手市総合計画審議会 議事録

1. 開催日時：令和元年11月8日（金）午後2時～午後3時

2. 開催場所：取手市役所 議会棟執行部控室

3. 出席者

委員：阿部洋子、岩澤信、櫻井由子、倉持光男、椎名一夫（副会長）、
大谷基道（会長）、三島徹也、鈴木孝典、山崎俊一、金田冬彦

事務局：政策推進部 南部長

政策推進課 彦坂課長、木野本課長補佐、作田係長、中川主事
ランドブレイン株式会社1名

傍聴者：なし

欠席委員：2名

4. 議事内容

（1）南政策推進部長挨拶（要旨）

部長：今回は4回目の審議会となりますが、前回いただいた意見を反映させた計画案について、現在、パブリックコメントを実施しています。パブリックコメントの結果を受けて、必要があればさらに修正し、12月に最終の審議をお願いし、年明けに答申をいただくというスケジュールとなればありがたいと思っています。今回も忌憚のないご意見をよろしく願います。

（2）議事録の公開について

（前回の第3回審議会の議事録の内容確認について審議会に諮り了承された。）

（3）主な議論の内容

①「とりで未来創造プラン2020」各論（案）への審議会意見の反映について

会長：議事に入る。「とりで未来創造プラン2020」各論（案）への審議会意見の反映について、事務局より説明を求める。

事務局：（資料1、資料2及び資料3に基づき説明）

会 長：各論部分について、大きな構成を変えることは難しいが、細かい表現などについての変更は可能である。ご意見、ご質問などはないか。

委 員：重点施策の「都市機能の充実」及び「安全安心対策の充実」については、SDGsの「13・気候変動」に関係する部分があると思う。先ごろの台風被害等も踏まえ、川に面する取手市における雨水対策への備えとしてできることの表現を強めてほしい。

副会長：防災について、気候変動による雨の異常な降り方は心配であり、今回の台風でも浸水被害が各地で起きている。「これから」を踏まえた記述を願いたい。

事務局：SDGsについては、「都市機能の充実」の「重点施策の展開方針」の中に「ゲリラ豪雨」という記載もあるため、「13・気候変動」のアイコンを加える。安全安心対策について、さらに強い表現を盛り込むことについては、基本計画は全ての事業を網羅するものではなく、重点的に取り組むものを記載しており、予算の裏付けなどの制約から盛り込むことが難しい点がある。安全安心対策については、通常の事業として、取組を展開していきたい。

会 長：「都市機能の充実」の部分への「13・気候変動」のアイコンは、追加することにしたい。また、安全安心対策については、予算の裏付けなどの問題もあり、取組は行っていくが、計画内容としては書きづらいということです承願したい。

(異議なし)

委 員：基本計画に書き込むことで、将来的に予算確保がしやすくなるといったことはあるのか。

事務局：内部での予算編成上の根拠の一つとして機能している。基本計画に重点事業として位置付けることにより、予算配分の優先順位が高まることは当然にあるため、市長マニフェストとの連動を図りながら記載する事業を選択している。

会 長：「重点施策の展開方針」の部分で触れていれば、予算化を優先するということもあり得るのか。

事務局：それもあり得る。

委 員：「高齢者福祉の充実」のうちの「緊急通報システム事業」の緊急通報装置について、現状では携帯電話を持たない高齢者は利用できない仕組みになっているが、携帯電話を持っていない高齢者も対象としていくのか。

事務局：そこまでは把握していないため、担当課に確認して報告する。

委 員：SDGsについて「3・福祉」に含まれるので、一人も取り残さないように願いたい。また、「スポーツ振興事業」について、「誰もが手軽に取り組めるニュースポーツの普及」とあるが、障害者や「パラスポーツ」も含まれるのか。パラスポーツという表現の方が良いのではないか。

事務局：担当課に確認して報告する。

委員：また「トップアスリートの育成」とあるが、具体案はあるのか。育成対象はどのような競技なのかなど、どのように考えているのか知りたい。

事務局：担当課に確認して報告する。

委員：14 ページの「学校教育の充実」について、ハード面の整備や授業に関することが中心になっている。先生の多忙化やメンタルへの環境整備の観点も盛り込む必要があるのではないか。

委員：教職員の働き方改革については、市教委としてもできることから進めているが、文部科学省から県教委を通じて各市町村教委へ降りてくる行政システムとなっており、市独自の取組はなかなか起こしづらい。

事務局：教職員の身分は県職員であるため、計画内容に書き込むことは難しい。

事務局：市教委の事業について、ハード面については予算に反映している。先生方については、校務の時間縮小に向けたネットワーク化などでの支援はできるが、教育方針などについては国の方針に基づいているため、市からは関与しづらい。

委員：教職員へのタイムカードの導入など、できる範囲で取組を進めている。

会長：教職員について、市でできることは対応しているが、計画には書きづらいということなので理解願いたい。

(異議なし)

委員：「魅力ある市街地の形成」について、駅北土地区画整理事業や東口バリアフリー化事業などのハード整備後のソフト施策が課題だと思う。28 ページに「とりでアートギャラリー運営事業」があるが、良い事例だと思うので、対象や分野を広げていければよいと思う。

委員：SDGs についてであるが、「健康づくりの推進」における事業については、市民協働に関係するものもあるので「17・パートナーシップ」にもあてはまるのではないか。また、「イメージアップ施策の推進」における事業についても市民協働に関するものがあるので「17・パートナーシップ」にもあてはまると思う。

事務局：住民主体となった事業やヘルスマイトに関する事業、市民協働による魅力発信事業など、市民連携で取り組む分野があるため、ご指摘を受け追加する方向にしたい。

会長：SDGs について、17 ページの「健康づくりの推進」及び27 ページの「イメージアップ施策の推進」に「17・パートナーシップ」を加えることとする。以上で、概ねよろしいか。

(異議なし)

②「とりで未来創造プラン 2020」(案)のパブリックコメントの実施について

会 長：次に、「とりで未来創造プラン 2020」（案）のパブリックコメントの実施について、事務局より説明を求める。

事務局：（資料 4 に基づき説明）

会 長：前回、パブリックコメントで意見は出されたか。

事務局：前回の 4 年前については、意見提出はなかった。

委 員：他の自治体でも同様であるのか。

事務局：総合計画のような総論的な大きな計画に対する市民意見は少なく、個別具体的な計画には市民意見が多く寄せられる傾向があると認識している。

会 長：個別の計画の場合は利害関係者が存在する。そのため、意見が寄せられると思うが、総論的な計画の場合、パブリックコメントが低調に終わる傾向が見られる。

委 員：「とりで未来創造プラン 2020」のタイトルの呼称について、「0」を「まる」と読むのはいかがなものか。読み方の統一を図るべきではないか。

事務局：「2020」は西暦を表しているため「にせんにじゅう」が正しい。

会 長：呼称については、「にせんにじゅう」で統一したい。

本日の審議会は、各論部分の審議の 2 回目であったが、前回の審議会で骨格を定めていただき、今回の審議会で修正部分や詳細について審議いただいた。以上をもって、各論部分の議論は終了としたい。

（異議なし）

5. 次回日程等

会 長：今後の予定について、事務局より説明願う。

事務局：各論部分についてご議論をいただき感謝申し上げます。次回の審議会はパブリックコメントの終了後に、出された意見をふまえて、序論・総論・各論を通した計画全体の最終的なご審議を願いたい。その後、年明けに答申をいただきたいと考えている。次回の審議会の日程について決定いただきたい。

会 長：次回日程について、事務局案の提示を願う。

事務局：12 月 20 日の金曜日の午後でいかがか。

会 長：次回の審議会の日程は、12 月 20 日の午後 3 時からとしたい。

事務局：今回は、12 月 20 日の金曜日の午後 3 時より、議会棟大会議室で開催する。資料は事前に送付する。

以 上